

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服専攻科オートクチュール専攻	単 位	2単位
科目コード	37000	科目名	クチュール手芸演習	授業期間	( 通年 )

担当教員(代表)： 三見麻理子	共同担当者：
-----------------	--------

## 【授業概要、到達目標・レベル設定】

クチュール手芸の基本テクニックから応用作品（フォーマル）の制作を通して実技を指導する。

## 【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

### 基礎刺繍

- ビーズ、スパングル刺繍基本刺し
- 様々な材料を使用するモチーフ制作
- ブレード加工基本刺し
- コード刺繍基本刺し
- 飾りボタン制作

### 応用作品

- フォーマルウェアに装飾（創作演習）

## 【評価方法】

部分刺し課題 作品評価 90% 出欠席 10%

主要教材図書	栗山武子 「ビーズ刺繍でドレスアップ」、「栗山武子のエレガンス刺繍」 とともに文化出版局
参考図書	なし
その他資料	なし

## 授業の特徴と担当教員紹介

文化服装学院卒業後、「服飾手芸くりやま」に入社。栗山武子先生引退後「服飾手芸さんみ」として独立。クチュール手芸の技法を用いて、ドレス等の装飾を実践的に教える。

記載者氏名 三見麻理子

# 2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FD3	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	2単位
科目コード		科目名	シャポー	授業期間	通年

担当教員(代表)：窪田 恵美子

共同担当者：

## 概要（教育目標・レベル設定）

- ・帽子の一般知識の習得
- ・夏物帽体、布帛作品、冬物帽体、ブレード、ヘッドドレスの5作品を制作
- ・専門素材・専門用具を用いての製作実習を通して、素材に適したデザイン・技法、帽子の基礎知識を習得
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方を学ぶ

## I 講義 帽子の基礎知識 [2コマ]

- ・帽子の形の用語、種類、素材、木型、用具など専門知識の説明
- ・スタイリングの際の帽子の効果、被り方等の説明

## II 実物製作 5作品

### (1) 夏物帽体作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・夏物帽体による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

### (2) 布帛作品の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・基礎作図からのパターンの応用、製作方法
- ・仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別に説明
- ・素材別の製作方法

### (3) 冬物帽体（フェルト帽体）の製作 講義・演習 [6コマ]

- ・帽子用のフェルト帽体（ファーフェルト）による実物製作
- ・木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導
- ・スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成形方法を指導
- ・トリミング（装飾）及び仕上げについて指導

### (4) ブレードの扱い方・基本技法の習得演習 講義・演習 [2コマ]

- ・2種類のブレード（麻・ホースヘアー）の扱いについて
- ・2種類のブレードを用いたヘッドドレス作品制作

### (5) ヘッドドレス 講義・演習 [8コマ]

- ・卒業制作作品とのスタイリングを考慮したデザインで制作する
- ・帽子特殊材料の芯地での土台芯の製作、扱い方
- ・土台芯にかける布の扱い方
- ・トリミング製作、仕上げ方
- ・帽子を頭につけるためのパーツについて

各帽子の取り扱い、手入れ方法、保管方法等の説明

帽子のスタイリング考察課題

## 評価方法・対象・比重

S～C・F評価、 評価基準：作品80%、授業姿勢20%

## 主要教材図書

文化ファッション体系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編

## 参考図書

The HAT magazine など

## その他資料

コスチューム資料室標本

## 授業の特徴と担当教員紹介

企業にて帽子ブランドのデザイン・制作に関わる。その後、自身の帽子ブランドを立ち上げる。

記載者氏名 窪田 恵美子